

The 'Kata' Blueprint for Consistent Scalping

未経験からスキャルピングで “まず10万円”を作る設計図

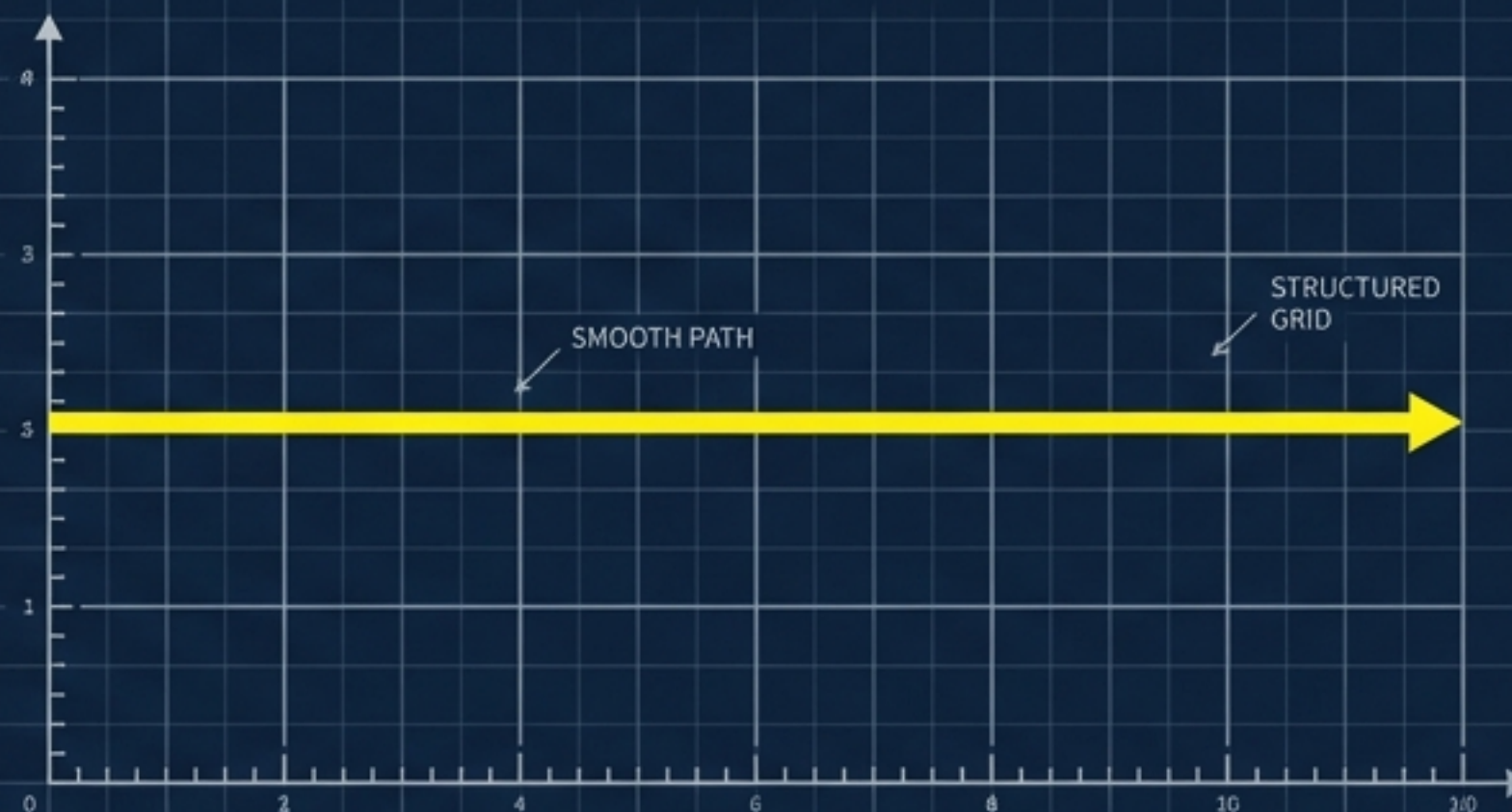
ズバットレーダー・マリ式：勝利の「型」と実践ステップ

何も分からないまま適当に始めれば、確実に資金を溶かす。

混沌とノイズ



構造と秩序



FXで最初に必要なのは、難しい手法ではない。絶対に負けにくい「考え方」と「順番」である。







避けたい結末：手法を探し回り、感情でトレードし、資金が尽きる。



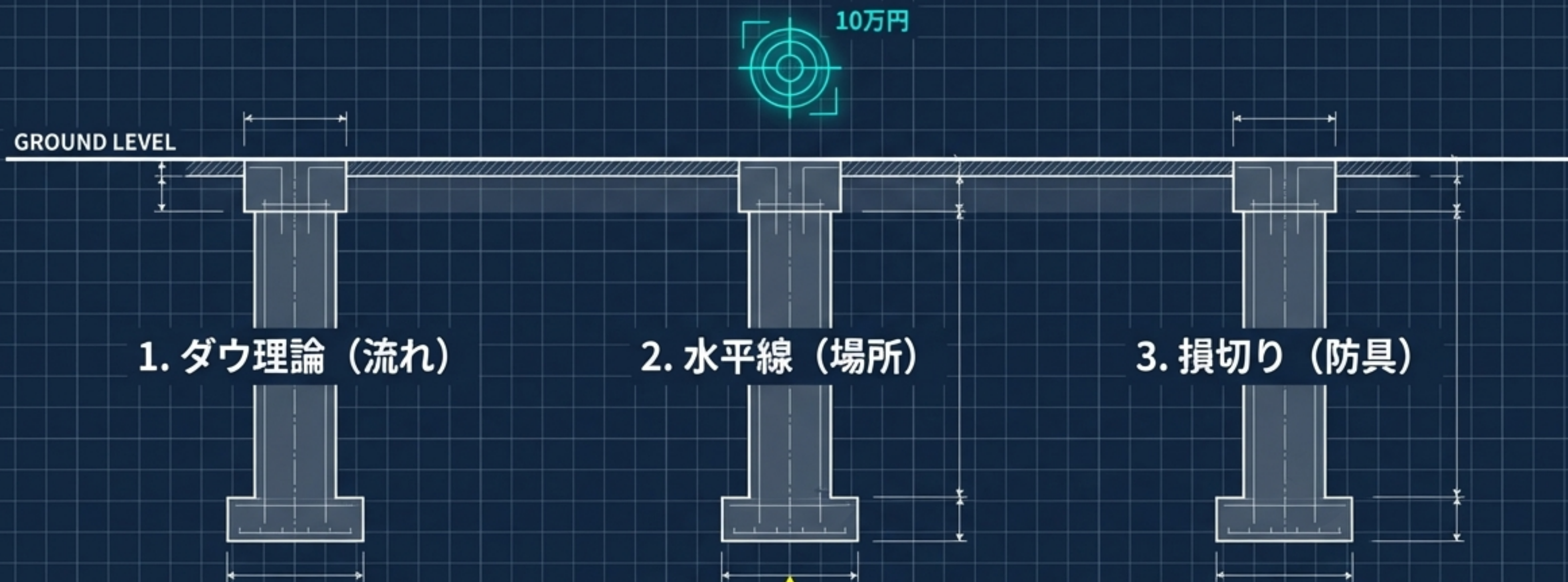
目指す未来：正しい考え方・シンプルな型・小さく始める練習手順の3つを装備する。

資金を溶かす素人 vs まず10万円を作るプロ

	資金を溶かす未経験者	まず10万円を作る人
手法	【素人】 いろんな手法に手を出し、YouTubeやSNSの情報でブレる 	【プロ】 勝てる形を「1つの型」に絞る 
エントリー	【素人】 なんとなく入る。上がってる途中で売り、下がってる途中で買う	【プロ】 毎回同じルールで、明確な理由を持って入る
資金管理	【素人】 損切りを外し、取り返そうとしていきなりロットを張る 	【プロ】 ロットを上げるのが遅く、損切りを絶対に外さない 
マインド	【素人】 最短で「稼ごう」とする	【プロ】 最短で「型を固めよう」とする

結論：勝つことではなく、「溶かさない型」を身につける。

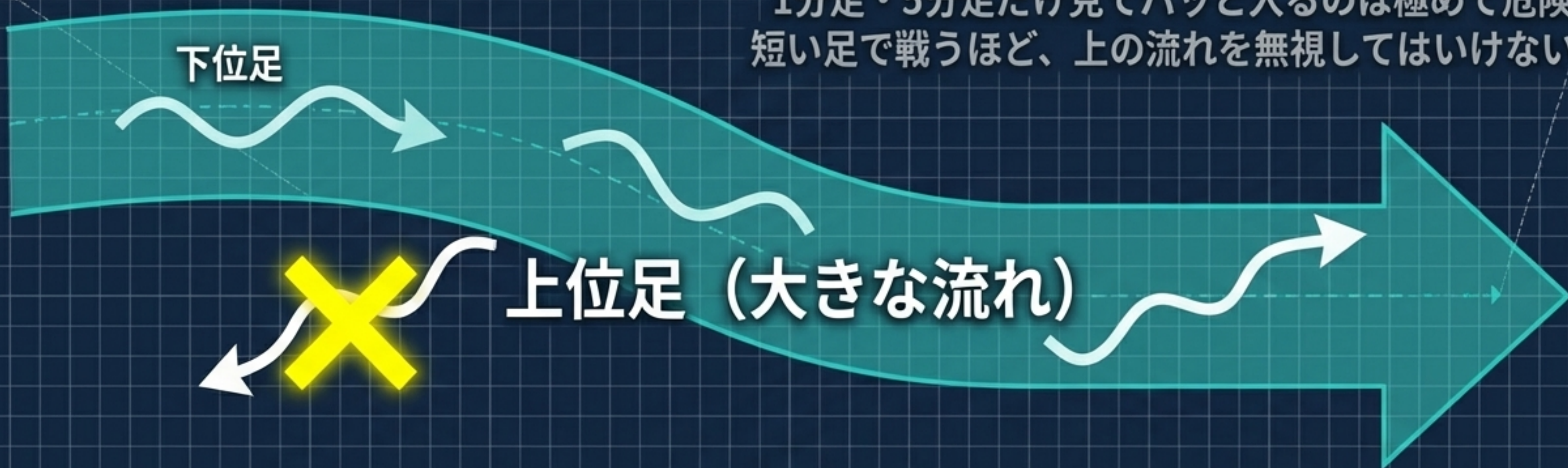
未経験者が負ける理由は「手法がない」からではない。「型がないままお金をかけている」からだ。



最初から全部できなくていい。一撃で勝つ必要もない。
小さく負けながら「自分の勝ちパターン」を作ること。

マリ式の考え方①：スキャルでも「上位足の流れ」に逆らわない

1分足・5分足だけ見てパッと入るのは極めて危険。
短い足で戦うほど、上の流れを無視してはいけない。



ルールボク

上位足 (日足・4時間足・1時間足) が【上昇傾向】 → 基本は「買い目線」✓

上位足 (日足・4時間足・1時間足) が【下降傾向】 → 基本は「売り目線」✓

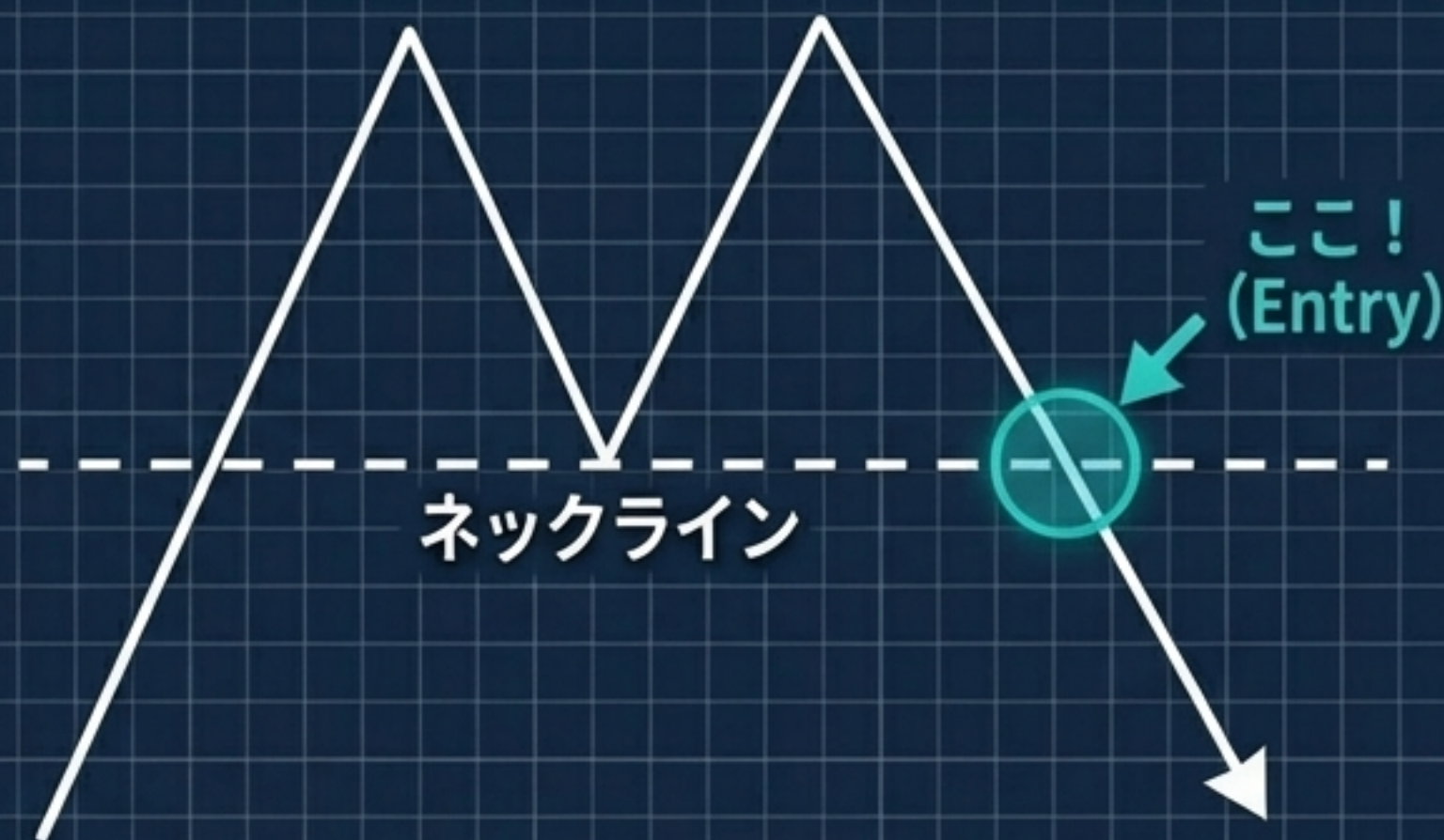
この大前提だけで、逆張りのムダ打ちは劇的に減る。

マリ式の考え方②：最初は「ダブルトップ・ダブルボトム」だけでいい

未経験のうちには「全部のチャンスを取る」のではなく、「分かる形だけ取る」ことで十分。

なぜこの形なのか？

- ✓ 目で見て分かりやすい
- ✓ トレンド転換のサインとして使いやすい
- ✓ ダウ理論の入口として理解しやすい



1. 高値圏で2回頭を打つ
2. 間の谷 (ネックライン) を割る
3. そこに戻ってきたところで**エントリー**

マリ式の考え方③：ブレイクした瞬間に飛び乗らない

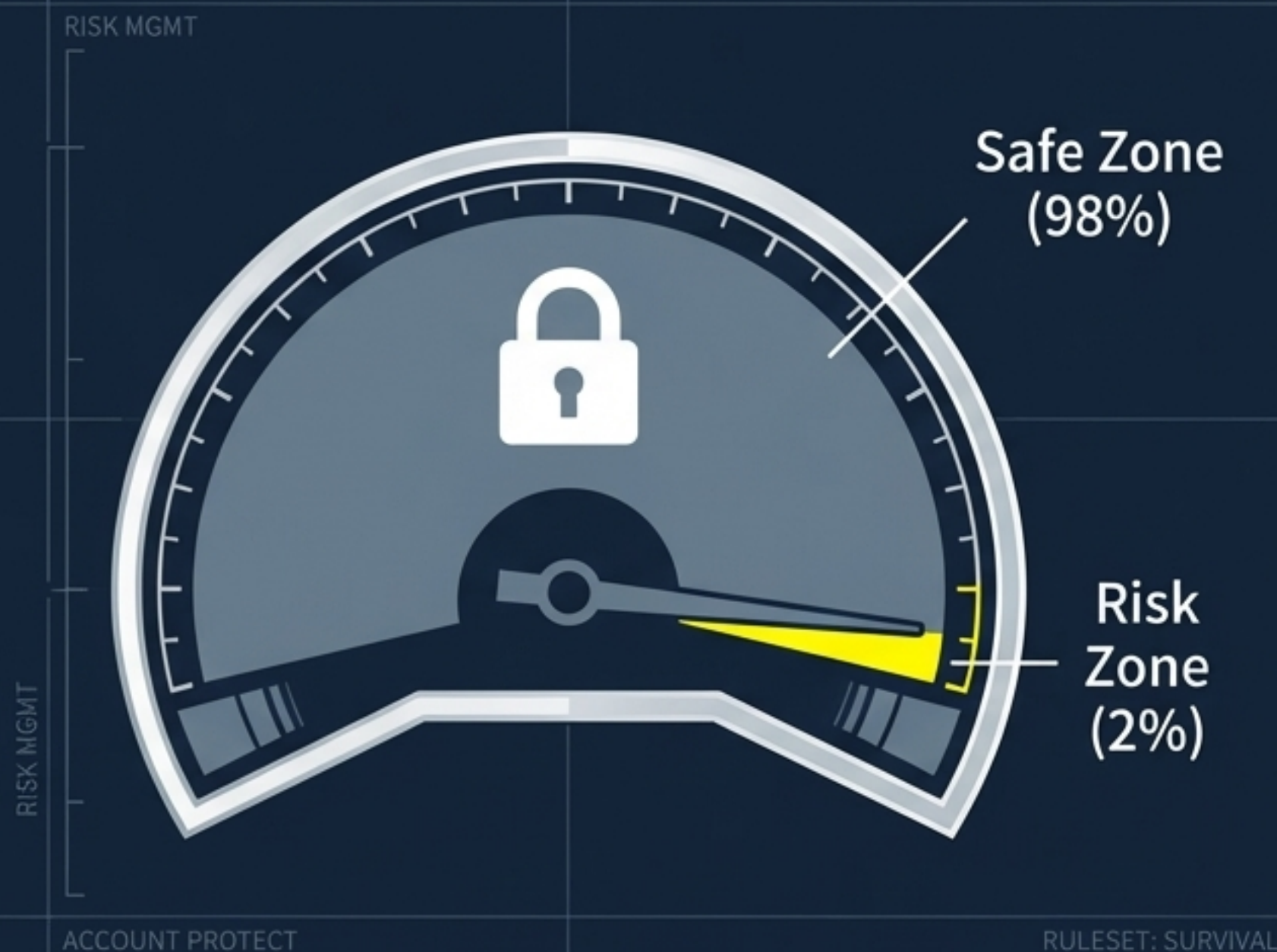
「抜けた！動いた！乗り遅れる！」という感情で飛び乗ると、ダマシに遭って資金を失う。



抜けた水平線が、今度はレジスタンス/サポートとして機能するのを確認してから入る。

マリ式の考え方④：「10万円を作る」より「1回の負けを小さくする」を優先する

「溶かしていいお金なんて、1円もありません。」



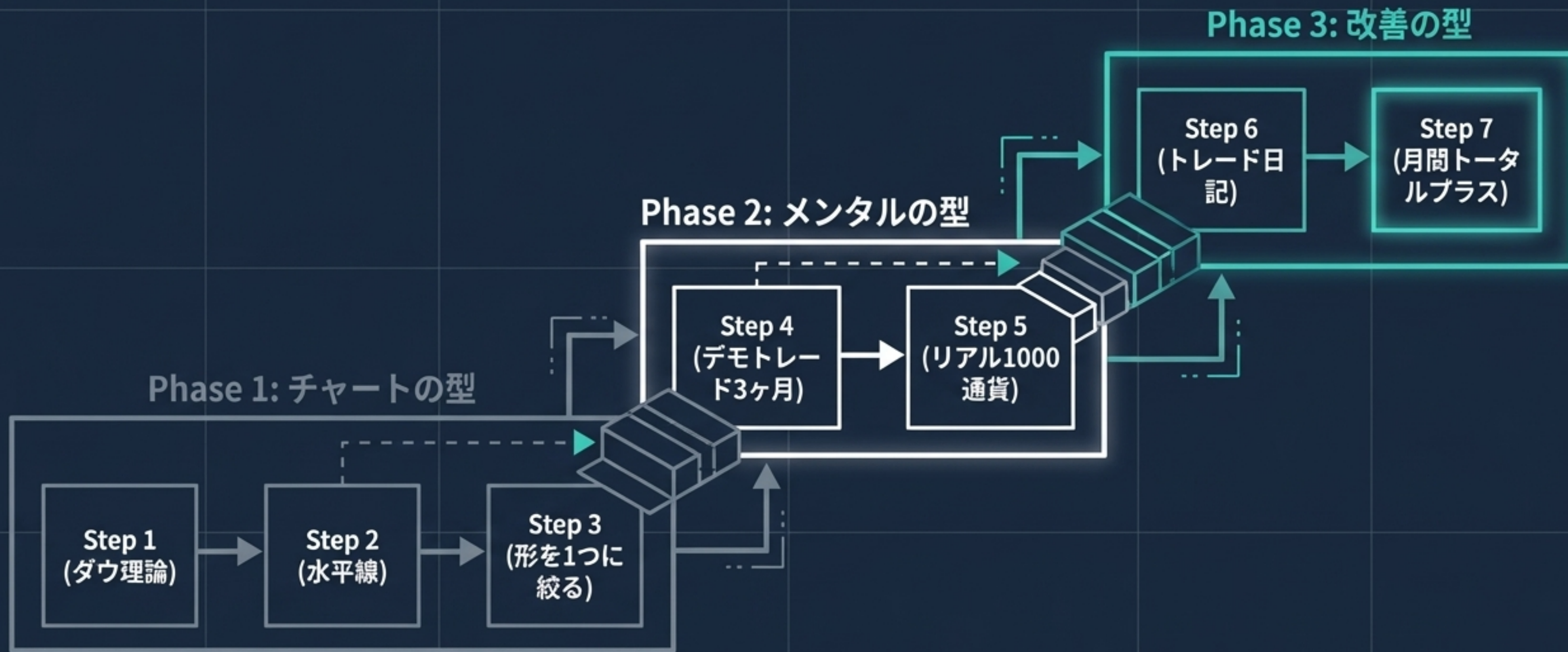
生き残るための3つの鉄則

- ルール1：1回の損失は口座資金の「2%以内」に限定する。
- ルール2：設定した損切りラインは絶対に外さない。
- ルール3：ロット数は「ポジションを持っていても忘れられる量」にする。

未経験者ほど、勝ち方より先に「死なないやり方」を覚えるべきである。

実践ステップ：未経験から月間プラスに至る「7つの階段」

基礎を飛ばさず、この順番通りに実行することが唯一の近道。

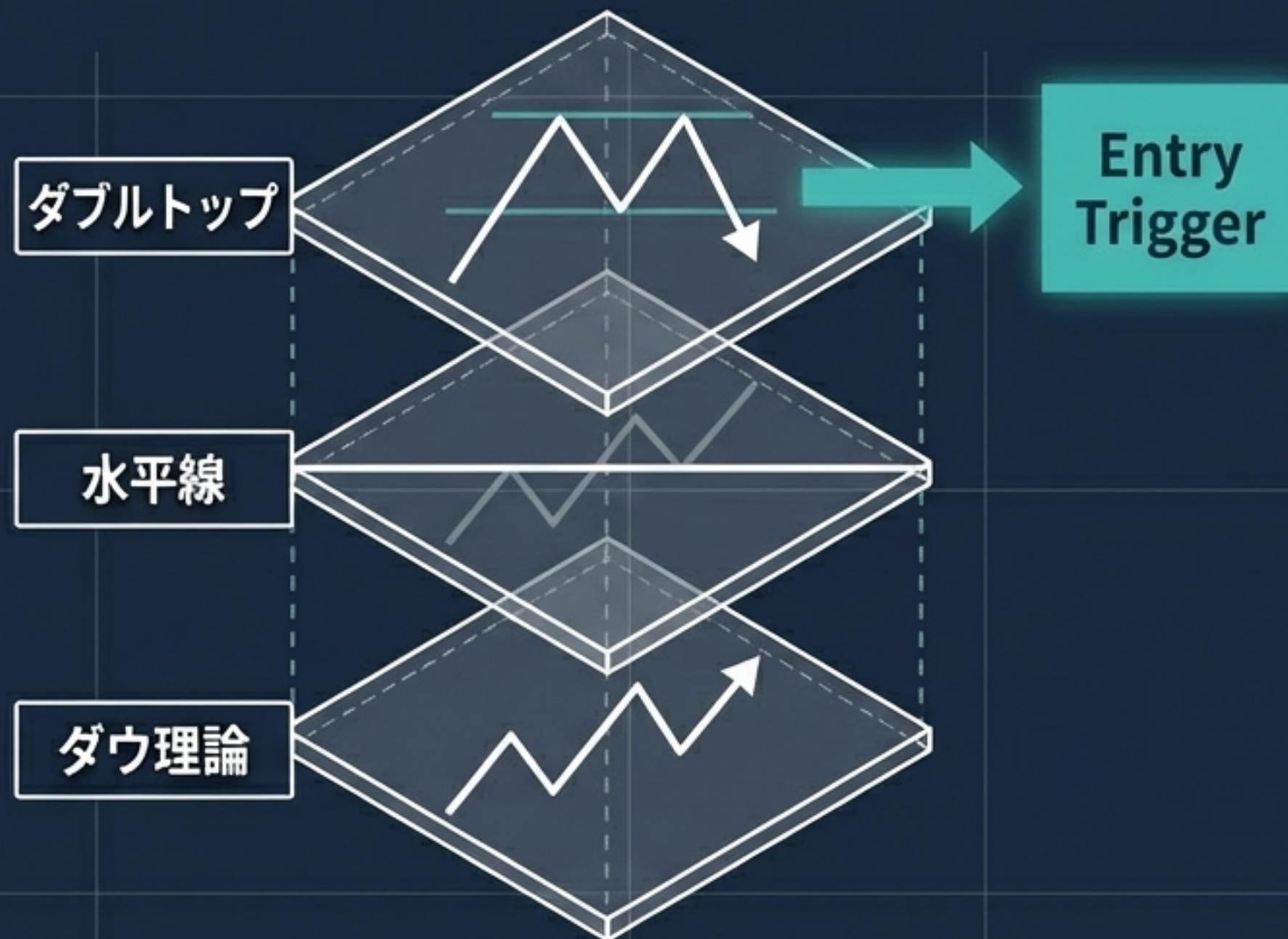


Phase 1: チャートの「型」を構築する (Step 1~3)

Step 1: ダウ理論をざっくり理解する。
「今の相場は上か、下か」の流れだけを把握する。

Step 2: 水平線を引く練習をする。
何度も止められている高値・安値、意識される節目にラインを引く。

Step 3: 狙う形を1つに絞る。
「ダブルトップ/ボトム+ネックライン
ブレイク後の戻り」だけを待つ。



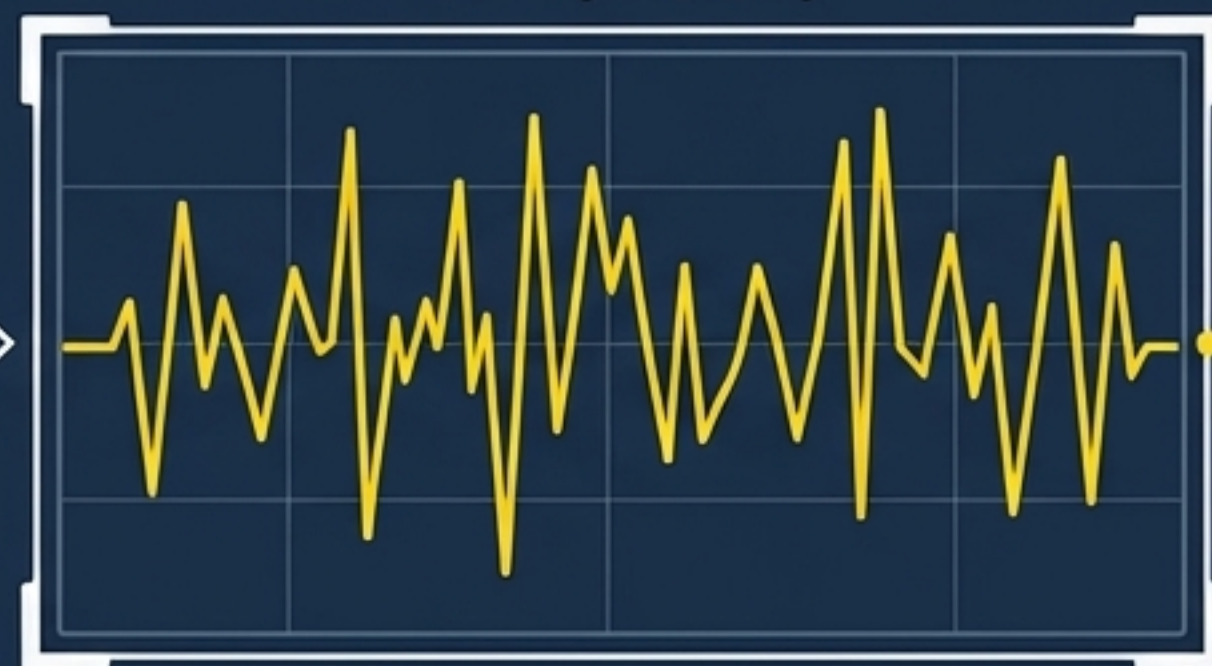
Warning: 余計な手法 (指標トレード、逆張りなど) で資金を失うくらいなら、1本に絞り切る。

Phase 2: 「メンタル」の型を移行する (Step 4~5)

Demo (デモ)



Real (リアル)



Step 4: デモトレードを3ヶ月やる

- 目的は「大きく勝つこと」ではなく、「**同じルールを守って続けられるか**」の確認。
- 感情で損切りをズラしていないか、1ヶ月単位で検証する。

Step 5: リアル口座は「1000通貨」から始める

- リアルマネーになると、少しの逆行で不安になり、利益が乗るとすぐ利確したくなる感情が必ず生まれる。
- 鉄則：**最初は「自分のメンタルが壊れないサイズ」**でしかやらない。

Phase 3: 記録と「改善」の型を回す (Step 6~7)

Step 6: トレード日記をつける。

- 必須記録項目：日付、通貨ペア、エントリー理由、損切り・利確位置、その時の【感情】。
- 人は同じミスを繰り返す。「なぜ入り、なぜ切ったか」を言語化してミスを潰す。

Step 7: 月トータルでプラスを目指す。

- 今日勝ったか、1回負けたかに振り回されない。
- ルール通りだったか、損失が小さかったか、月単位で改善できているかを見る。1日で作るものではなく、積み上げるもの。



Strategy: 記録がなければ改善も存在しない。データを武器に変え、再現性のある「勝ち筋」を固める。

The Reality of “100K”: 結果は、巨大な土台の氷山の一角



10万円を追いかける前に、負け方を直し、土台を固めること。「型を守って積み上げた人が、結果的に届く数字」である。

**「FXは、派手な人が勝つ世界じゃありません。
シンプルを守れる人が勝つ世界です。」**

- 早く稼ごうとする人ほど、自分で自分を壊していく。
- 中学生の部活のように、半年間、本気で基礎（型・順番・ロット）を反復する。

それができれば、FXは一生使える「種銭を作るスキル」になる。